

■日医標準レセプトソフト連携機能について■ (2006-1-20-RN1 JMARI)

本ソフトでは日医標準レセプトソフト（日レセ）から患者基本情報を取得することができます。
動かすには、日レセと医見書（Ver2.5以上）でそれぞれ設定が必要となります。
設定については、日レセのサーバ管理者か、日レセのサポート契約先の認定事業所にお問い合わせ頂くことをお勧めします。

▼日レセ側の設定

日レセのサーバ側で dba という通信用のデーモンを自動起動させる設定が必要となります。
これには以下の要領で通信用の deb パッケージを導入願います。

```
$sudo apt-get install jma-receipt-opas  
または root で  
#apt-get install jma-receipt-opas
```

以上で、日レセ側の設定は終了です

▼医見書側の設定

日レセと同じ LAN 内に医見書の入った PC が接続されている必要があります。

医見書を起動し、
その他の機能 (O) → 日医標準レセプトソフト連携 (R)
で設定を行います。



以下の情報を設定して下さい

- ◇日レセサーバの IP アドレス
- ◇ポート番号(日レセのデフォルトは 8013)
- ◇DBS バージョン
※日レセのミドルウェア (MONTSUQI) のバージョン番号です
※末尾の一覧を参考に願います
- ◇ユーザ名
日レセを起動する時に必要な引数 (user) として指定するものです
\$ glclient -port (host) -user (user) -pass (password) panda:orca00
- ◇パスワード
日レセを起動する時に必要な引数 (password) として指定するものです
\$ glclient -port (host) -user (user) -pass (password) panda:orca00

通信ボタン(A)を押し、日レセに登録された患者が表示されれば
医見書側の設定は終了です。
※取り込みの操作については公式サイトのマニュアルを参考に願います。

(ご参考)

日レセバージョンと DBS バージョンの関係

- 2.5.0-----1.2.2
- 2.6.0-----1.2.5
- 2.7.0-----1.2.6 (予定)

(公式 Web サイト) <http://www.orca.med.or.jp/ikensyo/>